

様へ

説明看護師(外来)









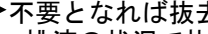
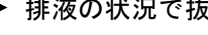








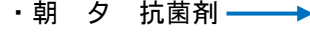












看護師(病棟)

月日	月	日	月	日	月	日
経過	手術前日		当日(術前)		当日(術後)	
目標	○心身ともに安定した状態で検査、手術が受けられる ○術前ケア、準備の必要性が理解でき、参加・実践できる ○術後合併症予防のための計画された方法を実践できる ○生活習慣の問題点を確認できる				○術後合併症を起こさない(出血、深部静脈血栓症、肺炎、縫合不全、感染、腸閉塞) ○心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリが行なえる	
検査	身長、体重測定 採血 レントゲン撮影(必要時)				採血 レントゲン撮影 体重測定	
食事	夕食後絶食、21時以後絶飲食 経口補水液は、麻酔科の指示で服用		絶飲食			
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで)  臍処置します(シャワー浴前)  弾性ストッキングのサイズを測定しお渡します	朝 浣腸します  時間になれば、看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・胃管(必要時) → 取り外します ・心電図モニター → 状況を見て取り外します ・点滴の管(CVカテーテル) → ・創部のチューブ(鎮痛剤) → ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ(血栓予防) → 取り外します  創部を観察、処置を行います		状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります	
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください  眠前下剤を服用します			以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌剤 →		
行動・リハビリ	シャワー浴、洗髪をします  制限はありません	以下の手術準備をします ・シャワー浴 ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリー、時計等の取り外し	翌朝までベッド上安静です		午前中全身清拭します  検査は車椅子で行きます  医師指示で心臓リハビリテーションを開始します  例) 午前：足下げ足踏み、室内歩行 午後：廊下歩行(約50m)	
説明	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について  病棟・手術室・(集中治療室)看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・心臓リハビリテーションについて ・(集中治療室について)  薬剤師より説明 ・持参薬確認 ・使用薬剤について		医師より説明 ・手術結果について  看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について			

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日～ 月 日	月 日～	月 日
経過	術後 2 ～ 4 日目		術後 5 日目～
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○術後合併症（出血・末梢循環障害・イレウス・感染）をおこさない</li> <li>○心臓リハビリテーションプログラムに沿ってリハビリがおこなえる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○術後合併症（イレウス・感染）をおこさない</li> <li>○生活習慣を改善する必要性を認識し、具体的な改善目標を設定できる</li> <li>○退院後の注意点が述べられる</li> </ul>
検査	   必要に応じて採血、レントゲン撮影、CT撮影 体重測定 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医が食事再開時期を判断</li> <li>・腹部の状況をみながら、流動食、粥食、常食（心臓病食）に移行</li> </ul>		退院日は朝食のみ
			
処置・観察	以下の挿入物があります <ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴の管（CV カテーテル）  点滴が不要となれば抜去します</li> <li>・創部のチューブ（鎮痛剤）  不要となれば抜去します</li> <li>・創部の管（ドレーン）  排液の状況で抜去します</li> </ul>		退院時にリストバンドを外します
	 創部を観察、処置を行います 	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります（血圧自己測定も実施予定です）	
点滴・内服	 以下を内服します <ul style="list-style-type: none"> <li>・胃腸薬 </li> <li>・緩下剤 </li> </ul>		
	 以下の点滴を行います <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続点滴 </li> <li>・朝夕 抗菌剤 </li> </ul>		
行動・リハビリ	 状況に合わせて、看護師が全身清拭、洗髪、足浴します  検査は車椅子で行きます  尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます		 状況に合わせてシャワー浴を再開します（週3回病棟毎で日が異なります）  検査は歩いて行きます（状況により車椅子）
	 心臓リハビリテーションを継続します 例）午前：歩行訓練 午後：歩行訓練		 目標を立て、心臓リハビリテーションを継続します 
説明	 医師より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の治療計画、療養上の留意点について</li> </ul>  看護師より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の療養生活について（退院療養計画書をお渡しします）</li> </ul>  薬剤師より説明 <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院後の内服について</li> </ul>  栄養士より指導（日時は要相談） <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事療法について</li> <li>・個別及び集団指導</li> </ul>		

